

「つり合いから読み解く材料力学」初版第1刷正誤表

頁	箇所	誤	正
ii	URL	https://www.coronasha.co.jp/np/isbn/97843390467755/	https://www.coronasha.co.jp/np/isbn/9784339046755/
viii	12.2.2タイトル	両端固定支持柱	両端固定柱
20	2.1.1項上から3行目	変わること、	変わること、で生じる、
24	図2.3タイトル	変形	弾性変形
25	図2.4タイトル	変形	弾性変形
26	図2.5タイトル	塑性変形	塑性ひずみ
28	コラム2内図の下1行目	この長方形平板におけるモーメントのつり合いを考えると、	削除
37	図3.7	$S-N$ 曲線	$S-N$ 線図
38	上から3行目	～応力変動など、応力の繰返し数が～	～応力など、応力変動の繰返し数が～
45	演習問題【3.4】	許容荷重 P を求めなさい	軸力 P の許容限界を求めなさい
61	下から6行目	～の関係は、式(5.8)となる。	～の関係は、式(5.4)と式(5.6)から式(5.8)となる。
62	上から1行目	式(5.6)より、	式(5.2)と式(5.6)より、
69	演習問題【5.1】	～せん断応力とトルクを与えた端部のねじれ角を求めなさい	～せん断応力とねじれ角を求めなさい
91	式(7.12)2行目	$\sin 2\theta \cos 2\theta$	$\sin^2 \theta \cos^2 \theta$
94	8.1節上から1行目	正方向の曲げ荷重	曲げ荷重
	8.1節上から6行目	$\theta - d\theta$	$\theta + d\theta$
98	式(8.12b)	$-\frac{P}{16EI} \{-4(l-x)^2 - l^2\}$	$-\frac{P}{16EI} \{-4(l-x)^2 + l^2\}$
104	下から5行目	図8.6の一端固定—他端支持はり	図8.6の全長が l で等分布荷重 w を受ける一端固定—他端支持はり
105	上から5行目	このまま扱う	未知のまま扱う
	上から6行目	自由端に集中荷重 $-R_A$	自由端に上向き集中荷重 R_A
	上から13行目	等分布荷重	等分布荷重 w
128	下から6行目	～となる。	～となる。ここで Φ は式(5.10)から求めた。
	下から3行目	トルクが x に応じて	トルクが位置 x に応じて
131	上から3行目	ひずみエネルギー U は、	式(10.16)を用いてひずみエネルギー U は、
150	12.2.2上から1行目、図12.3タイトル	両端固定支持柱	両端固定柱
151	コラム9上から1行目	平板における応力ひずみ関係は、	平板における弾性範囲での応力ひずみ関係は、
154	上から1行目	外面では圧力が無視できるため	外面では大気圧を無視すると
	下から3行目	pdA	荷重 pdA
155	下から1～2行目	内面の曲面を平面に投影	内面の曲面を荷重に垂直な平面に投影
156	上から5行目	左端の平面上	左端の断面上
158	上から2行目	微小平行六面体上における	微小平行六面体における
159	上から3行目	n の方向を定めると	\mathbf{n} の方向を定めると
160	上から10行目	座標の取り方	座標軸の取り方
	下から8行目	式(13.13d)の三次方程式	三次方程式(13.13d)
	下から2行目	座標の取り方	座標軸の取り方
161	上から6行目	困難である	容易でない
163	〔2〕上から2行目	降伏点	降伏強さ
	〔3〕上から1行目	最大せん断ひずみエネルギー説	せん断ひずみエネルギー説
165	上から5行目	降伏点	降伏強さ
	上から6～7行目	最大せん断ひずみエネルギー説 (maximum shear stress energy criterion)	せん断ひずみエネルギー説 (shear strain energy criterion)
166	上から4行目	降伏点	降伏強さ
	下から5行目	最大せん断ひずみエネルギー説	せん断ひずみエネルギー説
167	13.4.1項下から5行目	き裂が成長することで破壊する疲労破壊	き裂が成長する疲労破壊
169	下から5行目	実断面部をはりと見なし、	実断面図をはりの断面と見なし、
178	索引【さ行】	最大せん断ひずみエネルギー説	せん断ひずみエネルギー説

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。
下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。

<https://www.coronasha.co.jp>